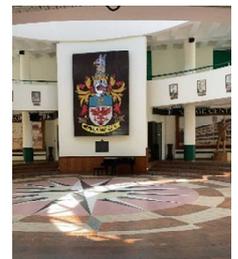
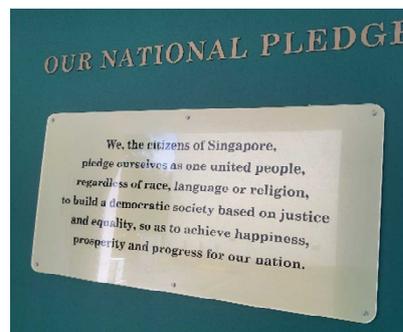


Raffles Institution 200th Founder's Day

令和 5年5月28日

本校が平成9年度（1997年度）に姉妹校提携を結び、相互交流を続けている Raffles Institution (RI、シンガポール) の創立 200 周年記念行事に、校長と中川教諭の二人が出席しました。

RI は、1823 年にシンガポール創設の父と言われるスタンフォード・ラッフルズ氏がシンガポールに最初に建てた学校です。現在では、シンガポールを代表する中等教育学校で、シンガポールの上位 3~5% までの学力の生徒が入学しているということです。卒業後はオックスフォード大学をはじめ、世界的な大学へ進学する生徒が多くいます。学校は広大な敷地の中に、白を基調とした校舎が自然の緑の中で映えていました。シンガポール全域から入学できるように寮が完備され、大学のような図書館、そして実験室には本校と同じように高度な実験装置があり、実験をサポートする職員が常駐し、いつでも生徒は実験に取り組むことができます。また、心のケアのための専門家が常駐するカウンセリング室や、課題研究などで小グループでの議論ができる“未来の教室”と呼ばれる部屋などがあり、学校への国をあげての支援や学校運営の独立性が担保されていることが窺い知れました。



【次ページに続く】

28日の創立記念式典は、日本の厳かな雰囲気とは異なり、生徒がエネルギッシュなパフォーマンスを見せるとともに、これまでの伝統をどう理解し、今の時代にあった目標が何かということを外に伝える場であったと思います。最も感心したのは、校長以下、私たちに対応してくれた教職員の皆さんが、ホスピタリティーあふれる対応をしていただいたことで、感動すら覚えました。RIの教員たちは、非常に優秀な集団で、全員ではありませんが学校独自に教職員の採用ができる制度になっています。そのような教職員が、生徒たちに接する様子は、創立理念に基づいたRI生として身につけるべき力を育成し、自国を発展させる国家有為の人材を育てるといった思いがにじみ出ていました。このことは本校にもあてはまり、その姿勢は参考になります。

今年8月には、4年ぶりの相互交流が実現します。訪問する神高生は様々な体験を通して大きな刺激を受けてほしいですし、来日したRI生には、本校だからこそできる体験をしてもらい、一生の思い出となるよう期待します。

最後になりますが、交流発展のための記念式典への出席や夏の相互交流の実施に際しまして、本校国際交流基金委員会から多大なご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

